

関東・甲信・静支部のうごき

1. 支部役員会

平成17年8月23日(火)、埼玉県環境科学国際センター会議室において、支部役員5名が出席し、支部長表彰被表彰者の選考等を行った。

2. 支部総会

平成17年9月15日(木)、千葉市(プラザ菜の花)において、15機関24名の出席者により開催した。会議の概要は次のとおりである。

- (1) 議決事項
 - ・平成16年度、17年度の運営及び事業について
- (2) 報告事項
 - ・平成18年度の役員・総会等の開催地について
 - ・全国環境研協議会会長表彰の支部推薦について
- (3) 専門部会事業報告
- (4) 支部長表彰式

支部として次の6名を表彰した。

- 佐藤賢司 (千葉県環境研究センター)
- 辰市祐久 (東京都環境科学研究所)
- 小澤秀明 (長野県環境保全研究所)
- 永田嘉七 (静岡県環境衛生科学研究所)
- 水尾寛己 (横浜市環境科学研究所)
- 宮本 廣 (千葉市環境保健研究所)

3. 大気専門部会

平成17年9月29日(木)～30日(金)、静岡県庁会議室において、15機関28名の出席により、以下の研究発表を行った。

- 1) 群馬県におけるSPMの組成と挙動 (群馬県)
- 2) 5年間のPM2.5観測結果から評価した、埼玉県北部のSPMの特徴と推移 (埼玉県)
- 3) ディーゼル車運行規制に伴う神奈川県内大気におけるPM低減効果の推定(神奈川県)
- 4) 大気中のダイオキシン類について—OCDD

高濃度事例— (東京都)

- 5) 茨城県における大気環境中のPRTR対象化学物質濃度 (茨城県)
- 6) 栃木県で実施しているアスベスト調査について (栃木県)
- 7) 静岡県におけるPRTR対象VOCs測定結果について (静岡県)
- 8) 千葉市で発生した広域異臭調査事例 (千葉県)
- 9) 栃木県における有害大気汚染物質調査結果 (栃木県)
- 10) 大気中のホルムアルデヒド、アセトアルデヒドの分析について (静岡県)
- 11) 有害大気汚染物質における数値の取扱について (浜松市)
- 12) 横浜市のヒートアイランドの実態について (横浜市)
- 13) 川崎市におけるヒートアイランド現象の実態調査と解析手法の検討について(川崎市)
- 14) 上高地における大気環境測定結果(長野県)

4. 水質専門部会

平成17年10月13日(木)、浜松市(アクトシティ浜松)において、15機関21名の出席者により、以下の研究発表を行った。

- 1) 新たに追加された要監視項目に係る調査結果 (栃木県)
- 2) 高架道路上の重金属の流出と由来 (神奈川県)
- 3) 横浜市水域におけるPCBの起源推定 (横浜市)
- 4) ストリッピングボルタンメトリーによる土壤中重金属の簡易分析とオンサイト汚染評価技術への応用 (埼玉県)
- 5) 工場・事業場排水水検査への簡易検査法適

■ 支 部 だ よ り ■	
----------------------	--

- 用性の検討 (群馬県)
- 6) 酒沼水質予測モデルの構築 (茨城県)
- 7) 手賀沼の臭気物質に関するプランクトンの研究 (千葉県)
- 8) 東京湾の水質の変遷について (東京都)
- 9) 一般廃棄物最終処分場における浸出水の長期挙動 (長野県)
- 10) 環境流出油の分析法の基礎研究 (山梨県)
- 11) 川崎市内河川及び川崎港の底質の重金属汚染実態調査 (川崎市)
- 12) 千葉市の河川水質について (千葉県)
- 13) 佐鳴湖における窒素、リン等の水質調査結果について (浜松市)

5. 水質専門部会東京湾連絡会

平成17年11月16日(水)、神奈川県川崎市において7機関18名の出席者により開催した。味の素株式会社川崎事業所の廃水処理施設の見学を行った。

その後、川崎市役所の会議室において、以下の研究発表及び各機関の平成17年度調査研究計画及び途中経過について報告を行った。

- 1) 東京湾におけるダイオキシン汚染について (千葉県)
- 2) 日本丸ドック内の水質とカキによる浄化との関連 (横浜市)

東海・近畿・北陸支部のうごき

当支部では昨年9月に開催された支部総会において、「支部研究会のあり方」について論議されましたが、事務局でワーキンググループを作り検討を行うこととなりました。ワーキンググループについては支部長機関、副支部長機関の事務担当者が担当し、平成18年1月24日(火)に和歌山県環境衛生研究センターにおいて副支部長の石川県担

当者環境科学部長・東浩一氏、名古屋市環境科学研究所事務係長・中村洋二氏、和歌山県環境衛生研究センター環境研究部長・森喜博他支部事務局2名により検討会を開催しました。

「支部研究会のあり方」については今後も検討を行っていく予定です。

専門部会等のうごき

1. 「支部研究会」の開催

平成18年2月16日神戸市のみなとじま会館において17機関58名の参加者により開催されました。開催日は神戸空港の開港日と重なり研究発表等で

開港に花を添えるかたちとなりました。

支部研究会プログラム

- 1) 開会挨拶
全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部長

■ 支部 だ よ り ■

錦見 盛光
神戸市環境保健研究所長
伊藤 正寛

2) 研究発表

「大気汚染等に関する事例」

座長 神戸市環境保健研究所
環境化学部 鈴木行夫

- ①乗鞍岳マイカー規制にともなう大気環境調査
岐阜県保健環境研究所 三原利之
- ②愛知県における環境大気中の揮発性有機化合物(VOC)の濃度について
愛知県環境調査センター 岩田聖子
- ③住宅用床材料の建築音響性能について
愛知県環境調査センター 田中 進

「水質汚濁等に関する事例」

座長 滋賀県琵琶湖・環境科学センター
水質担当 原 良平

- ④湖沼底質の改善技術の研究
福井県衛生環境研究センター 加藤賢二
- ⑤京都府北部閉鎖性水域の溶存酸素の鉛直分布調査結果について
京都府保健環境研究所 田口 寛
- ⑥液体クロマトグラフィーによる水中のフェノールとホルムアルデヒドの同時測定
奈良県保健環境研究センター 山本圭吾
- ⑦質量分析計付高速液体クロマトグラフを用いたイミノクタジン3酢酸塩の分析法の検討
京都市衛生公害研究所 中川和子

「アスベストに関する事例」

座長 神戸市環境保健研究所
企画部 中道民広

- ⑧石川県におけるアスベストについて
石川県保健環境研究センター 橋場久雄
- ⑨名古屋市におけるアスベスト環境濃度調査結果
名古屋市環境科学研究所 中島寛則
- ⑩大阪府におけるアスベスト分析体制と調査結

果 大阪府環境情報センター 中戸靖子
⑪アスベスト検査への対応と課題

大阪市立環境科学研究所 船坂邦弘

- ⑫民間計測業者によるアスベスト室内高濃度事例の検証
兵庫県健康環境科学研究センター 小坂 浩
- ⑬兵庫県におけるアスベスト除去工事の現況について
兵庫県健康環境科学研究センター 岡田圭司

3) 課題別検討会

アスベストに関して

座長 兵庫県健康環境科学研究センター
大気環境部 英保次郎

- ①基調報告 兵庫県健康環境科学研究センター
大気環境部 小坂 浩
- ②各自治体、研究の取り組み
- ③精度管理等分析法の問題点

4) 閉会挨拶

神戸市環境保健研究所長 伊藤正寛
岐阜県保健環境研究所
理科学部長 角田 寛(次期開催県)

2. 有害物質部会の開催

平成18年2月22日和歌山市の和歌山県薬剤師会館において、10機関25名の参加者により開催されました。

有害物質部会プログラム

1) 開会挨拶

全国環境研協議会東海・近畿・北陸支部長
錦見盛光

2) 議 事

- ①ダイオキシンに関すること
- ②アスベストに関すること
- ③農薬の分析に関すること
- ④機器整備に関すること
- ⑤技術継承に関すること
- ⑥その他

以上のことについて活発に討論がなされました。